



実用新案登録願

昭和51年1月10日

(3,000円)

特許庁長官 殿

1. 考案の名称 ^{シキ シヤシヤフエイダイ} おりたたみ式の写真撮影台

2. 考案者

住所 ^{アイチケントヨダシミナボネマツエノシヤ} 愛知県豊田市御船町榎嶋23番地
氏名 ^{サワダ コウジ} 沢田 耕治

3. 実用新案登録出願人

郵便番号 470-03

住所 ^{アイチケントヨダシミナボネマツエノシヤ} 愛知県豊田市御船町榎嶋23番地
氏名 ^{サワダ コウジ} 沢田 耕治

ほか1名

4. 添付書類の目録

(1) 明細書 1 通
(2) 図面 1 通
(3) 願書副本 1 通

5. 前記以外の実用新案登録出願人

郵便番号 507

住所 ^{ミヅホケンタツシミシノモトマツ} 岐阜県多治見市根本町4丁目36番地
氏名 ^{タケウチ シゲイチ} 竹内 繁一

51 012502

52-103832

1. 考案の名称 おりたたみ式の写真撮影台

2. 実用新案登録請求の範囲

(イ) 矩形枠 1・1 と矩形枠 2・2 を蝶番 4・4

によつて、それぞれ連結する。

(ロ) 矩形枠 1・1 と矩形枠 3・3 を蝶番 4・4

によつて、それぞれ連結する。

(ハ) 矩形枠 3 と矩形枠 3 を蝶番 4・4 によつて

連結する。

以上のように構成された、おりたたみ式の写真撮影台。

3. 考案の詳細な説明

この実用新案は、人間の集合写真撮影台をおりたたみ式にした構造に関するものである。

従来、人間の集合写真を撮影しようとする時には、固定の造りつけのものを使つたり、あるいは、机などを積みあげて段差をつけて撮影していた。

したがつて、固定の造りつけのものの場合は、使用されない場合には邪魔であつたり、倉庫に収容する時にはスペースをとつたり、自動車などで

52-10343

移動させたい時にも場所をとって不便であつた。

又、机などを積みあげて段差をつけた場合には安定性が悪く危険であつた。

本考案は、これらの不便をとり除くために考案されたもので、これを図面について説明すれば、

(1) 矩形棒 3 と矩形棒 3 の各 1 辺を蝶番 4 . 4 によつて連結する。

(2) 矩形棒 3 . 3 の他辺に矩形棒 1 . 1 の各 1 辺を蝶番 4 . 4 によつて連結する。

(3) 矩形棒 1 . 1 の他辺に矩形棒 2 . 2 の各 1 辺を蝶番 4 . 4 によつて連結する。

(4) 矩形棒 1 . 1 と矩形棒 2 . 2 に踏み板固定棒 5 をそれぞれとりつける。

本案は以上のような構造であるから、これを使用しようとする時、

(a) 矩形棒 3 . 3 にとりつけた蝶番 4 . 4 をのばして、矩形棒 3 . 3 が同一平面上にあるように位置させ、

(b) 矩形棒 3 . 3 と直角になるように矩形棒 1 . 1 をひろげ、

(c) 矩形棒 2・2 を矩形棒 1・1 と同一平面上
にあるように位置させる。

(d) 矩形棒 1・1 と矩形棒 2・2 にとりつけた
踏み板固定棒各 5 に、これと同じ間隔にわけ
た踏み板 6・6 の穴をさしこんで本撮影台を
固定させる。

次に、これをおりたたもうとする時には、踏み
板 6・6 を外し、矩形棒 2・2 を外側にあり、矩
形棒 1・1 を内側にあり、矩形棒 3・3 を背中合せ
になるようにして内側におれば、最終的には、本
撮影台の横巾は矩形棒 3 の横巾の寸法までおりた
たむことができる。

したがって、本撮影台が不要な時や、自動車に
よる移動の時には、不必要なスペースを占有しな
いものであつて、撮影の目的のほかにもコーラス
台としても利用できるものである。

4. 図面の簡単な説明

オ 1 図は本考案のおりたたみ中の斜視図

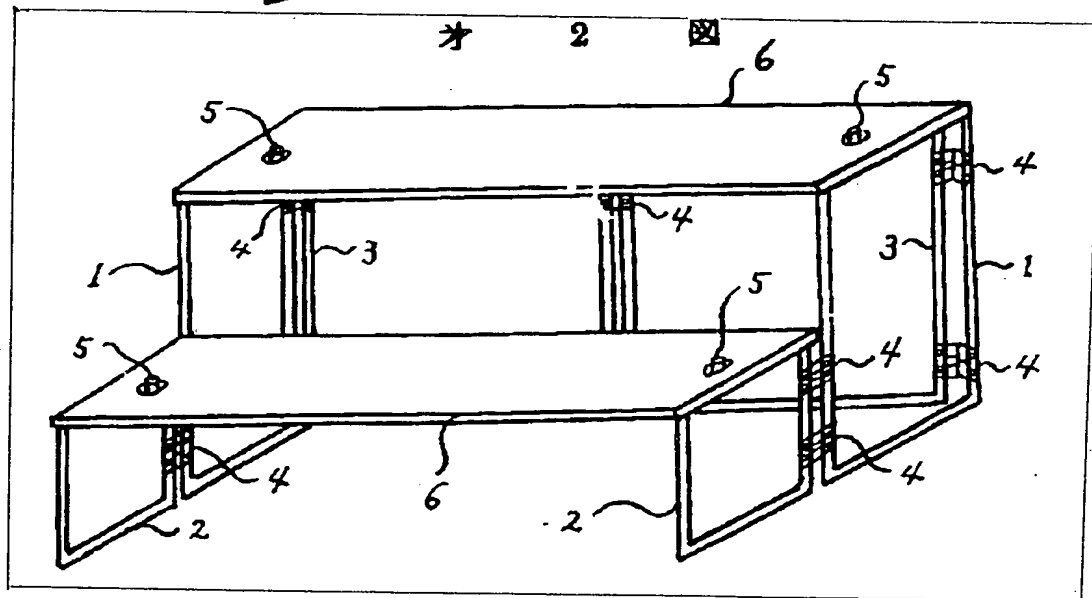
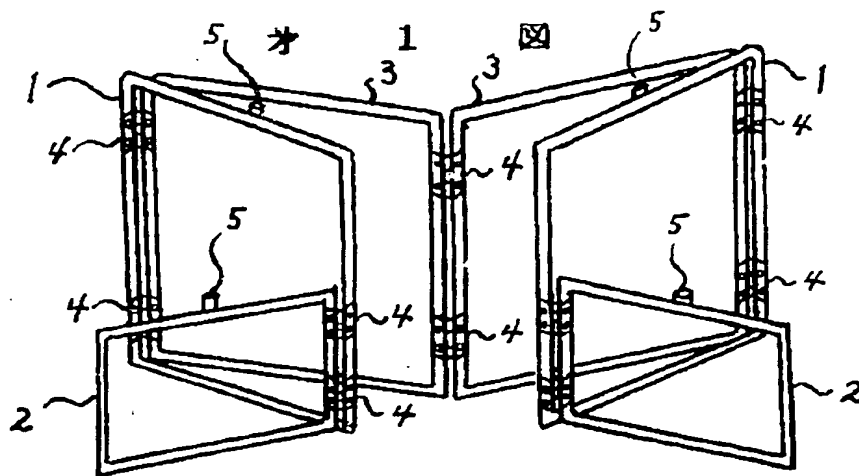
オ 2 図は本考案の組立後の斜視図

- 1 は 矩 形 棒
- 2 は 矩 形 棒
- 3 は 矩 形 棒
- 4 は 葉 番
- 5 は 踏 み 板 固 定 棒
- 6 は 踏 み 板

実用新案登録出願人

沢 田 耕 治
竹 内 繁 一

圖 面



實用新案登錄出願人

沢 田 耕 治
竹 内 繁 一

103832